

(株)ニッポン 第1四半期連結累計期間の業績および通期連結業績予想

< 連結業績の概要 >

(％表示は対前年同四半期比率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	98,631	114.4	5,447	217.8	6,687	174.7	4,479	164.3
2023年3月期第1四半期	86,205	110.6	2,500	94.9	3,828	100.6	2,726	104.6

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、行動制限の緩和による個人消費及びインバウンド消費の回復が続きました。一方、ロシア・ウクライナ情勢をはじめとする不安定な国際情勢等に起因した原材料・エネルギー価格の高騰により製造・輸送コストは高止まりしており、依然として先行きの不透明な状況にありました。

このような状況下、当社グループは経営理念「人々のウェルビーイング（幸せ・健康・笑顔）を追求し、持続可能な社会の実現に貢献します」のもと、お客様、社員、株主、社会をはじめとするステークホルダーとともに、未来につながる価値の創出を目指す取り組みを推進しました。業務改善によるコスト削減に加え、拡売のための先行投資により主力商品の更なる販売強化を図るとともに、高付加価値な商品・サービスの提供によって競争優位性を高めるなど基盤強化に努めました。

本年5月には、北米でのビジネス拡大とインオーガニック成長戦略の推進を具現化させるため、米国の製粉会社Utah Flour Milling, LLCへ出資いたしました。米国製粉事業への参入は、当社グループ全体の製粉事業の総合力を高めるとともに、米国で展開しているNIPPON California Inc.（カリフォルニア州／プレミックス等の販売）、Pasta Montana, L.L.C.（モンタナ州／パスタの製造・販売）2拠点とのシナジーも発揮し、米国における事業成長スピードを加速させ、海外事業の更なる拡大を目指すものです。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、個人消費及びインバウンド消費の回復等による需要の増加に加え、原材料及び各種コストの上昇を受け段階的に実施した価格改定により、売上高は986億3千1百万円（前年同期比114.4%）となりました。利益面では、原材料及び各種コストの上昇や拡売のための戦略コストが増加したものの、冷凍食品類の販売数量伸長、中食事業の堅調な推移等により、営業利益は54億4千7百万円（同217.8%）、経常利益は66億8千7百万円（同174.7%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は44億7千9百万円（同164.3%）となりました。

< 連結業績予想 >

第2四半期以降の業績につきましては、2023年5月12日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想の数値を据え置いております。

また、配当につきましても、当初予想の1株当たり年間40円の予定から変更はございません。

以上